MAKOTO

YOUNG BUDDHIST ASSOCIATION MAGAZINE

no.155

no.155

ちはブッカツ（仏教活動）と呼ぶことにしました

この広い宇宙の中で
私は人として生まれ
あちらこちらと漂いながら
ここへたどり着いた

なんとなく惹かれて訪れた
仏の教えに満たされた空間
ひょっとしたら
これってとても希なこと

人間の世界は嘘だらけ
でも仏さまの教えは真実
もしも仏法にしたがって
生きることができるなら
あなたも私も大切な友も
もっと笑顔になれるはず

計り知れないほど深く
奇跡のようなこの出遇い
そんな宝のような仏法を
私はこの身で感じたい

MAKOTO YOUNG BUDDHIST ASSOCIATION MAGAZINE

● 特 集

仏さまとその教えとその友を宝とするそれを私た

4p 専如門主 「私たちのちかい」についての親教

6p 黒田智美さん 「であいとえにし」

8p 田渕真味子さん 「なん？ 寺コンって？ プチパニック」

10p 日本全国のブッカツどうでしょう？

12p TeraTube 連動企画 「お仏壇を買ってみた！」

13p 彼國の便り 馬嶋英爾

14p 新・中央委員

16p ＹＢＡフォトコンテスト

専如門主

「私たちのちかい」についての親教

このたび、十一月二十二、二十三日に「秋の法要」（全国門徒総追悼法要）が本願寺・阿弥陀堂にて営まれました。二十三日の法要に引き続き、ご門主より、若者をはじめとした方々を対象に「念仏者の生き方」のお心を体し、肝要として四ヵ条にまとめられたご親教「私たちのちかい」が発布されました。

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四ヵ条にまとめました。

私たちのちかい

一、自分の殻（から）に閉じこもることなく
穏（おだ）やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑（ほほえ）み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

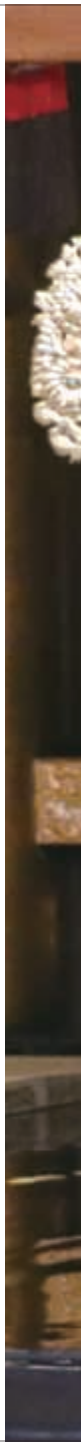
一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲（じひ）に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき
日々に精一杯（せいいっぱい）つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

２０１８（平成３０）年１１月２３日

浄土真宗本願寺派門主　大　谷　光　淳



●特集

仏さまとその教えとその宝を宝とするそれを私たちブッカツと呼ぶことにしました

Tomomi Kuroda 黒田智美

東京都在住、長崎県出身。職場が築地本願寺の近くで仏青に関わるようになる。現在仏教青年連盟中央委員・広報教材委員長。

近年仏教・お寺の入口は多種多様

仏教、あるいはお寺といえば、近年ではいろんな層に向けて、新しい入口があります。境内の桜や紅葉、門前市を見に来る観光や娯楽を目的とする人、歴史が好きで史跡的な価値を求めてきたり、音楽活動に勤しむ僧侶やお寺に関わるアイドルグループを応援する人、果ては神仏を擬人化したゲームを楽しんだり、サブカルチャー的な方面から関心を持つ「新参者」といえそうな人たちまで。私が仏教に興味を持ったのもそんなことがきっかけでした。その結果、私は数年にわたって、本や論文を読み漁ったり、宗派を問わずあちこちのお寺を訪ねてお話を伺ったりしています。現在所属している築地本願寺の仏教青年会に関わり始めたのもその趣味のひとつで、夜にお寺の中を案内していただくナイトツアーからの参加でした。さて、そんな経験のなかで、お寺に関する忘れられない話があります。

平泉での「であいと縁（えにし）」

岩手県を旅行中、平泉の居酒屋で地元のおじさんたちと仲良くなりました。一緒に飲んだ翌日、その中の60～70代と思われるMさんに、中尊寺や毛越寺を案内してもらいました。私は歴史好きも相まってよほど楽しそうだったようです。帰りにMさんが心底不思議そうに尋ねられました。

「なんで仏さんにお参りするの？」

「それで何かが得られるの？」

さて、どう答えたものでしょう。私は敬虔（けいけん）な仏教徒ではないので、宗教的に適切な解答は持ち合わせていませんでした。

でも「なぜお参りをするのか」これは難しくありません。歴史的な出来事やそこにいる仏さまに関心があるから。では、そうすることで何かが得られるのか？　考えてみて、出た答えは単純なことでした。得るものは「であい」いわば「縁」です。

人と出会うため、お寺を訪ねる

ほんの数年で、たくさんのお寺さんや地方の仏青の方にお会いし、色々な方言でそのお寺や土地にまつわるお話をきかせていただきました。青年会に所属することで、北は北海道、南は九州の同年代の方と交流する機会を得ました。仏教に興味を持ち、出かけてみなければ得られなかった出会いです。平泉でMさんに出会えたのも、たまたま観光に行った日に、ふらりと入った居酒屋で席が隣り合ったという縁でした。あるいは引き合わせられたのかもしれません。そう考えると、仏様にお礼の気持ちでお参りするのかも…と、後日Mさんに手紙で伝えたところ、面白いねえ、それはありだよ！と元気な電話をもらいました。

そんなわけでこれからも、勉強のため、人と出会うため、お寺を訪ねていくことでしょう。そしてその都度、縁に感謝し手を合わせたいと思うのです。

Mamiko Tabuchi

田渕真味子

福岡県北九州市在住。ひょんなことで参加した寺コンで出遇った仏教にはまり中。現在仏教青年連盟中央委員・広報教材担当。

ある日のこと。職場の同期兼飲み友兼親友に

住職さんに、寺コンがあるからどう？
って誘われたんやけど
参加するかスタッフかどっちか一緒にせん？

…。…!?　なん？寺コンって笑
てか、なんで住職さんと関わりあると？
どっからその話来たん!?
って、すっごくプチパニック

住職さんなんて、携帯圏外の祖父の家でしか接したことのない、
私からしたら無縁のお方。 おそれおおく、なんとなし緊張する。そんな印象。
よく話を聞いたら、彼女のおばあちゃんがご門徒さん。
月命日には毎回ご住職様がいらっしゃると、

へぇ～ …ぢゃあ、スタッフで (^^)/
住職…？お坊さんってどんな人なんやろーとゆー好奇心。

中学生の時に、歴史の授業で平安時代のきらびやかな世界観から、まずは源氏物語にハマり、
１人で京都へ赴き、神社仏閣を巡っていたので、お坊さんに興味津々。
それと、寺コンっち楽しそーやし、客観的に人の恋愛模様を見れるとゆー好奇心。
そんな感じに思ってた数日後。

寺コンのスタッフ会があるけ、この日集合らしぃよ！

その詳細
会議兼お食事会（飲み会 w）
えっ、そんなラフな感じ？
スタッフ会ってお坊さんが来るんよね?!
てことは、坊主頭に囲まれる会?! !?
あたし大丈夫やか？
めっちゃ緊張するし
なんかやらかしたらどしよーー!?
正装？お座敷？お念珠はいるの？
… …… ……

そんな不安と好奇心を抱いたまま、その日を迎え、いざお店へ行ってみると……
なんとゆうことでしょう笑 ほんとにラフな……坊主頭の人とか誰もおらんやん！
てかほぼ年齢変わんない！ 私服でもあったせいか、お坊さんなんて微塵も感じられず
想像よりもはるかにものすごく近しい存在でした。

私のブッカツのはじまり

ッどうでしょう？

それぞれで特徴あるブロック大会を行っています。
に参加してブロック大会マスターになってみる？

第２ブロック

第２ブロックの会場は富山。「別院と門前町」をテーマに、寺院と地域のつながりの中に息づく歴史、習俗、社会背景や経済など、在地性に準拠している固有の文化的諸要素学習。２日目はウォークラリーをしながら前日学習した内容を参加者に体感してもらいました。

第１ブロック

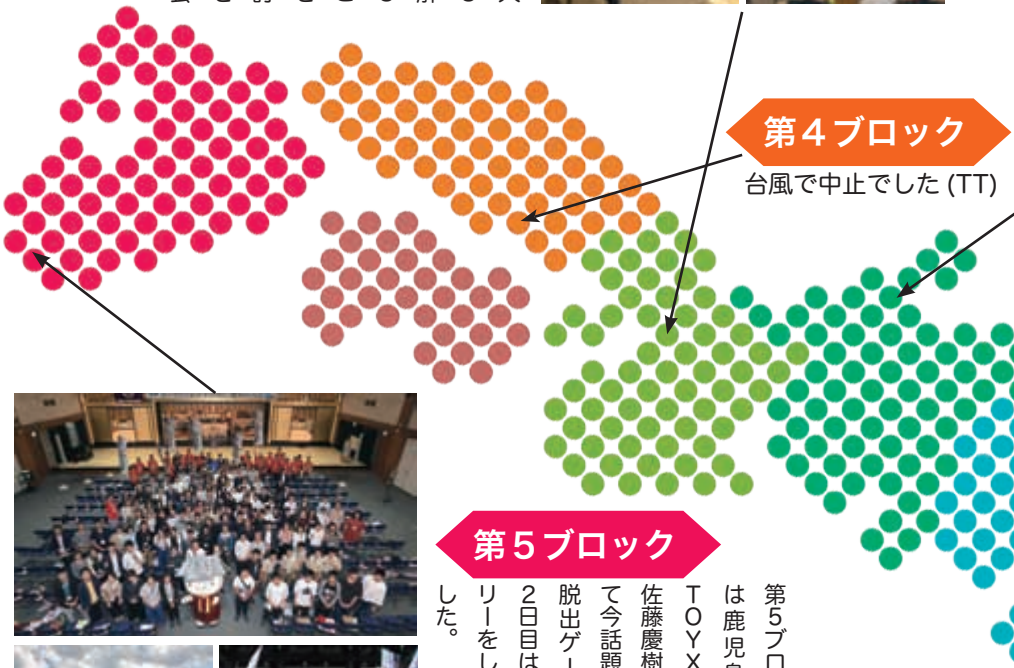
第１ブロックの会場は北海道札幌別院。初日はダーツを投げて「仏教」「観光」「グルメ」の各項目をクリアし写真をグループＬＩＮＥに投稿するコンテストを開催。２日目は絵本法話の読み聞かせが行われました。

日本全国のブッカ

仏教青年連盟は全国を５つのブロックに分け、毎年
このブロック大会は誰でも参加可能。なんなら全部

第３ブロック

第3ブロックの会場は大阪。国連で採択された「SDG，S」について理解を深めるためSDG，Sとは何かを学習。仏青として何ができるのかをカードゲーム形式で検討しました。夜はBBQを行い2日目は海遊館を会場に懇親を深めました。



第４ブロック

台風で中止でした (TT)

第５ブロック

第5ブロックの会場は鹿児島。初日にTOYXボーズ代表佐藤慶樹さんを迎えて今話題の、謎解き脱出ゲームを開催。2日目はウォークラリーをして楽しみました。

TeraTube 連動企画

お仏壇を買ってみた！

前仏教青年連盟中央委員長である松本光生が密かに抱いていた「中央委員長と呼ばれてはいるけども、家族で生活するマンションにはお仏壇がない。はたしてそれはどうなのか？そもそも僕にお仏壇がいるのか？」という疑問を解決すべく、新米指導講師 馬嶋英爾を案内役にお仏壇を購入？しようという連動企画。果たしてこの凸凹コンビは無事お仏壇購入にいたるのか!? 皆さん優しい心で見守ってください（笑）！

彼國の便り

法話　馬嶋英爾　仏教青年連盟指導講師

三重県四日市で私があずからせていただいているお寺は、昔ながらの漁師町にあります。一昔前は何十人もの漁師さんでにぎわっていましたが、今では両手で数えるほどの人数しかいません。記憶をたどると、その何十人もの漁師さんは、ほとんどの方が「刺青」を入れていました。

私が小さいころは夏場になると、夜明け前から海でひと仕事終えた漁師さんたちが町中で息抜きの時間を過ごしていました。午後になると家の前に縁台をおいて、たくましく日焼けした上半身をさらし、将棋をさしている姿が日常的に見られました。様々な絵柄の色とりどりの刺青が、強い日差しの中で、町を色鮮やかに染めあげていました。同じ町に住む私たちは見慣れているのですが、近隣の皆さんは怖かったようで、今でも隣町の同級生からは「遊びに行くのは勇気が必要だった」と言われます。

当時を思い出させる風景として、夏場になると駅前を下着姿で自転車に乗り、颯爽と走り抜けていくお年寄りの姿が今でも見られます。あのシャツの下には、どんな意匠を凝らした刺青が入っているのか、と想像をめぐらせたりするのです。

現役の漁師さん、引退した漁師さん、それぞれのご家族から聞いた話によると、漁師が刺青を入れるのは、「海難事故に遭った時、身元を特定する為に必要なものである」とのことでした。皆さんが口をそろえて仰ることを、よく覚えています。

身元確認するだけなら名前でも彫っておけば良いのでしょう。しかし危険な海を仕事場にする以上、生きる力を励まそうとして派手さを競った心に、人間の強さと弱さを感じるのです。

「海は怖い。『あっ』という間に命を落とす。気をつけても、気をつけても事故は起こる」私たちの町には命を落とすということを、「どこか遠くの世界で起こる他人の話」ではなく、「自分自身にいつ起こってもおかしくない、日常のこと」として受け止めている方が多くおられます。

限りある命を精一杯に生き抜こうという姿を、根底から支えてくださるみ教えが、私たちには恵まれています。いつ命尽きてしまうかもしれず、遺体が家族の元へ戻る保障もない、厳しい生活の中にあるからこそ、阿弥陀さまの「必ず救う」とのお誓いも、「必ず会わせていただく」お浄土も、この私一人のために建立されたものと喜ぶことができるのではないでしょうか。私たちの暮らす漁師町を、念仏相応の地と聞かせていただいております。

新・中央委員

古閑大誠　熊本

趣味はカメラ撮影。映画鑑賞です。顔は爬虫類みたいですが、中身は人見知りしない変わり者なので見つけたら話しかけてください！これから3年間色々な事を考えながら頑張っていきたいと思います。

黒田智美　東京

築地本願寺の裏に勤め先がある関係で、初めてお寺に足を踏み入れたのが2年半前。変わった外見なので、3年ほどは眺めて過ごしていました。正直、仏教寺院だと思わず……。

仏教やお寺に縁遠かった身ではありますが、そんな人でも仏教青年会は大歓迎です。むしろそんな人たちが興味を持てる活動をできるよう、誠心誠意頑張ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

政本百花　大阪

大阪教区の政本です。甘いものが大好きで辛いものが苦手な21歳です。仏青がどんなものなのか、楽しいイベントなどを通して考えて、伝えていけたらと思っています。知識も経験も少ないですが、頑張ります！よろしくお願いします！

小林大輝　東海

中央委員2期目となり、引き続き行事部委員になりました。大きな仕事としては全国大会の企画・立案になるかと思います。今期は本山などで行われる様々な行事に参加して糧にしたいと思う次第です。

全国大会は参加される皆さんに楽しんでもらうのは勿論ですが、当日スタッフで参加してくださる皆さんにも満足していただける全国大会に成るよう努めたいと思います！

池上龍之介　備後

みなさん、こんにちは！たびたび、広島の山ん中の田舎から出てきました。2期目にして、まだ右も左もわからないんじゃけど人と人とのつながりを大切に、ご縁作りを頑張っていこーと思うとるけんみなさんよろしくお願いします。最近の悩みははっとうじが多いことなんよはっとうじがわからん人はググってね！

まぁ、なんやかんやこんな僕ですがよろしくお願いします。

山本志乃　北海道

北海道・釧路出身。仏青12年目と長いですが、全国規模の集まりには参加経験が少なく、地元でひっそりと続けてきた私がこのような貴重な機会をいただいて、初めは不安いっぱいでした。でも中央メンバーの皆さんのアットホームな雰囲気に助けられ、楽しくスタートできています♪これから楽しみです！そして、北海道の仏青の発展へも繋げていけたらと思っています。三年間よろしく！

田渕真味子　北豊

仏青の活動に初めて参加して早3年。お寺と全く関わりのなかった私が、仏青に携わったことにより、現在進行形で多くの人とのご縁とステキな経験をさせてもらってます。

そんな私のチャームポイントは、よく通る高い《声》♡この両親からの最高のプレゼントを武器に、皆さまにも【日常＋仏教】の魅力を様々な形でお届けする事を、声高らかに宣言いたします！どうぞよろしく♡

松野　嵩　四州

出身は香川県、現在は仕事の都合で1年前から滋賀県に住んでおります。私事ですが、来年2月にパパになる予定です。子供の名前を考えておるのですが、全く決まりません・・・。皆さまからのアイディア募集中です。

仏青の行事について、まだまだ分からないことだらけですが精一杯頑張っていきます。これから色んな方と交流できるのを楽しみにしています。

松本光生　高岡

これまで仏青に出逢い仏青に長く携わり、仏青に育てていただいた青年も、もはや青年と言われる年を過ぎてしまいました。この3年間はお世話になった仏青が未来へ繋がっていくために全力を注ぎたいと思います。仏青の魅力を一人でも多くの青年にどう伝えるのか？もっともっと魅力的な仏青にするにはどうしたらいいのか？最後の中央委員の任期を真剣に向き合いたいと思います。

苅田有可理　兵庫

幼稚園の頃から一門徒として地元のお寺の土曜学校に通い、いつしか手伝う側になり、従姉妹に連れられ神戸の活動に参加し、仏青活動をするようになりました。

学校の部活動でもなく、会社の同僚でもない場所で感じる居心地の良さ、ご縁の繋がりを若い方たちにも感じてもらえる活動をしていきたいなと思っていますのでよろしくお願いします。

日本中の仏教青年会を代表して西本願寺に集いし１０名。
現在、２０２０年全国大会を企画立案中。乞うご期待！

●特集　仏さまとその教えとその友を宝とするそれを私たちはブッカツ（仏教活動）と呼ぶことにしました

YBAフォトコンテスト

ブッカツの写真を募集中！ご応募お待ちしています！

◆テーマ　ブッカツ（仏青をはじめとするお寺や地域での活動風景）
※教会や神社など浄土真宗にふさわしくないテーマは選ばないようにしてください

◆応募資格　仏教青年連盟にご縁のある方　※プロ・アマは問いません

◆募集期間　2019 年 1 月 10 日 (木) ～ 6 月 30 日 (日)

◆応募方法　作品タイトル、名前、郵便番号、住所、年齢、電話番号、性別を添えて
フォトコン専門メールアドレス【photocon-yba@hongwanji.or.jp】宛にご応募ください
※写真は、掲載時に画像サイズはこちらで調整しますが、
ファイルサイズの大きすぎる写真は、JPEG 形式 2 MB 以下を目安にリサイズしてください

◆発　　表　次号まこと 156 号での掲載をもって発表とします　(発刊時期：2020 年 1 月予定)
※入賞者には事前に直接通知いたします

◆審　　査　仏教青年連盟広報教材委員が選考いたします

◆賞　　**金賞（1 点）聞法会館宿泊ペアご招待　銀賞（2 点）お念珠　銅賞（5 点）ギフトカード 3 千円分**

◆注意事項
・応募点数はお 1 人様 1 点といたします　・写真は、未発表かつ発表予定のないものといたします
・撮影者、被写体、人物の許可が取れているもののみ受け付けます
・被写体が人物の場合、肖像権侵害等の責任は負いかねます
・寺院境内等での撮影は、土地の管理責任者 (住職等) に撮影許可を得て応募ください
・掲載の可否や時期についての問い合わせはご遠慮ください
・入賞した作品については、仏教青年連盟で使用する場合がございます　予めご了承ください

MAKOTO no.155
浄土真宗本願寺派　仏教青年連盟機関紙　2019 年 1 月 10 日発行
編集 / 発行：仏教青年連盟 広報教材委員会 〒 600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派 宗務所内 TEL：075-371-5181(代)